

修士生VOICE

丁寧な指導のおかげで仕事と研究を両立 経験を臨床における看護の質向上へ

成人看護学と研究の基礎を学びたいと考え、本学看護学研究科修士課程へ進学しました。臨床で周手術期看護に携わらる中で、日常的に行われている創傷管理の実践が、どのような根拠や意図に基づいて行われているのかを明らかにしたいという思いが研究の出発点でした。大学院では勤務を続けながら通学し、仕事と研究の両立に試行錯誤する日々でしたが、指導教授の丁寧な指導のもと研究を進める中で、研究の基礎を学ぶことができました。また、研究活動を通して臨床で行われている看護実践の意味や根拠を深く考え、看護の専門性について改めて見つめ直す貴重な機会となりました。大学院で培った視点は、日々の看護実践をより深く考えるための大きな力になっています。今後もこの経験を活かし、臨床における看護の質向上に貢献していきたいと考えています。



おおし えり な
大西 恵理奈さん
2025年度修了
名古屋大学医学部
付属病院
看護師

より深い実践の重要性を感じ進学 チーム医療にも貢献できる学びを得る

看護師としての臨床経験を積む中で、より深い知識とエビデンスに基づいた実践の重要性を感じ、内科脳外科 急性期病棟で働きながら日本福祉大学大学院看護学研究科に進学しました。仕事と学業の両立は決して簡単ではありませんでしたが、学びを実践に活かすことで、より広い視野を持つことができました。大学院では『小児看護学実習における学生のコミュニケーション・スキルの実態と関連要因』について研究し、諸先生方には丁寧な指導をいただくことで量的研究を学ぶことができました。大学院での学びは、自分の成長だけでなく、患者さんやチーム医療にも良い影響を与えると実感しています。今後も医療現場での実践と研究を両立させながら、より良い看護の提供をめざし後輩の育成にも参加したいと考えています。これから進学を考えている方には、ぜひ新たな挑戦を楽しんでほしいと思います。



いけだ よしえ
池田 佳江さん
2024年度修了
学校法人藤田学園
藤田医科大学
ばんだね病院
看護師

大学院生VOICE

科目等履修生を経て大学院進学 認知症看護を院内外に広げたい

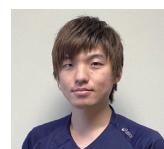
私は、認知症看護についてより深く学びたいと考え、認知症看護認定看護師の資格を取得しました。現在は病棟から外来へと看護実践の場は変わりましたが、病院全体で認知症の方を支える重要性を日々実感しています。認定看護師には「実践・指導・相談」という役割がありますが、実践している認知症看護をどのように他者へ伝えていくか、また院内にとどまらず地域で生活する認知症の方への支援をどのように広げていくかに課題を感じてきました。これらを体系的に学び、より広い視野で看護を捉えたいと考え、大学院への進学を決意しました。昨年、科目等履修生として講義を受講し、大学院での学び方に触れたことも進学への大きな後押しとなりました。現在は、大学院生の仲間とディスカッションを重ねる中で、多様な意見や考え方に触れ、自身の視野が広がっていくことを実感しています。今後は、認知症の方が地域で安心して生活できるよう支える存在となることを目指し、その実践方法について研究を深めていきたいと考えています。



しぶや あやみ
渋谷 文美さん
2026年度入学
医療法人桂名会
重工大須病院
看護師

臨床現場と大学院での研究をつなげ多 角的なスキルアップをめざす

私は本学の看護学部を卒業し、HCUに勤務して5年目を迎えました。日々の看護実践を通して、重症度の高い患者への対応やご家族との関わりの中で、判断に迷う場面や知識の不確かさを痛感することが少なくありませんでした。こうした経験から、看護をより深く学び、自らの実践力を高めたいと考え、日本福祉大学大学院への進学を決意しました。大学院では、院生仲間や先生方とのディスカッションを行う機会が多く、自分の考えを深めるとともに、学問的な観点や多角的な視点を得ることに繋がっています。現場で感じた疑問から研究課題を明らかにするために先行研究を読み深め、修士論文の作成に向けて日々努力しています。修了後は、大学院での学びや研究で明らかになったことを臨床現場に還元することで、科学的根拠に基づいた質の高い看護の実現に貢献していきたいと考えています。



おおこうち こうへい
大河内 康平さん
2025年度入学
JA愛知厚生連
安城更生病院
看護師

施設・設備



図書館



院生室

科目等履修制度について

2024年度より科目等履修制度が導入されました。看護学研究科で開講している科目を先行して履修することができ、より具体的に大学院での学びをイメージいただくことが可能です。科目等履修生として修得した単位は入学後に認定され、修了要件の単位に充当することができます。(上限10単位まで)

看護実践研究センター

広く学べるさまざまな研修プログラム

年間を通して、看護の研究方法や看護倫理、多職種連携などをテーマとした看護職向け研修プログラムを提供しており、大学院生も参加できます。また、臨床現場で行う個別の研究に関する相談にも応じています。



詳しくはHPを
ご覧ください